夜景サミット2017 inタイ　報告

長崎市議会議長　野口 達也

1、目　的

今回の訪問は、一般社団法人夜景観光コンベンションビューロー主催の「夜景サミット2017inタイ」が開催されるにあたり、平成24年に世界新三大夜景、27年に日本新三大夜景に認定された長崎市として、世界に長崎夜景の魅力をＰＲ、発信するために参加した。

また、タイにおける日本人・日本企業の状況についてＪＥＴＲＯ（日本貿易振興機構）を訪問､途中中座し､タイ国のコブカーン･ワタナワランクン観光スポーツ省大臣と面談、長崎の夜景観光への誘致をお願いした。

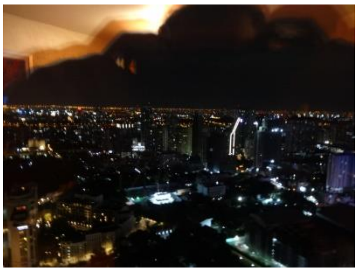
2、訪問期間、訪問都市、日程

報告書概要の通り

3、所　感

(1)　バンコク市内の夜景視察

車窓からの視察であったが、宮殿や寺院のスポットライトは点灯していたものの、夜間のため開場されてなく、山頂からの夜景といった高台もないため、イルミネーションの活用が必要と感じた。



(2)　ＪＥＴＲＯ視察

タイへの日本からの企業進出は年々増加しており、現在約 4,200 社が進出している。タイの現地エージェントのみならず、日系企業への長崎夜景観光のトップセールスも必要であり、タイアップした施策が必要と感じた。

(3) コブカーン・ワタナワランクン観光スポーツ省大臣と面談

大臣との面談がかなうようになり、ＪＥＴＲＯ視察を中途退席し、大臣と面談した。大臣も日本に好意を持ち来日しているものの長崎にはまだ来崎していないとのこと。長崎の夜景写真を見せながら、長崎のＰＲをすると、タイにない夜景観光ルートとしての魅力も感じられ、ぜひ訪問したいとのことであった。

(4) 夜景サミットｉｎタイ

タイ政府観光職員、訪日観光旅行エージェント、マスコミ関係者を相手に、長崎市をはじめ各都市による夜景観光プレゼンが行われた。また、タイの旅行エージェントとの商談会やマス・メディアとの意見交換会も行われ、外国観光客にとってのゴールデンルート以外としての「長崎の魅力」をアピールできたと感じた。

(5) タイの文化遺産視察

〖水上マーケット〗

現在は観光客用の水上マーケットとなっているが、山が無く、水路と道路・家屋敷地がほぼ同じレベルであり、スコールも多いことから、水上マーケットが発達したとのことであった。過去の生活文化遺産を観光に利用したものであり、活気のある風情であった。

〖アユタヤ遺跡〗

14～18 世紀に王都として繁栄した世界遺産の古都、アユタヤ遺跡。当時の戦いで破壊された寺院遺跡や仏像からは、当時の栄華ある歴史を感じられた。また、菩提樹の中に埋まった仏像の頭で知られる「ワット・マハタート」前での写真撮影は、座ってのみ写真撮影が可能で、仏像を大切にしているのが理解できた。

4、その他

視察時は、在位 70 年４カ月という世界の現役の国家元首で最長だった故 プミポン前国王が 88 歳で 2016 年 10 月 13 日に亡くなり、政府機関は 1 年間の服喪に入っていた。国民から絶大な支持と尊敬を集めていた前国王の祭事は、2017 年 10 月 26 日に火葬が予定されているとのことであり、コブカーン・ワタナワランクン観光スポーツ省大臣をはじめ、タイ全国民が喪に服した黒っぽい服装が多かった。